

平成 27 年 7 月 23 日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム
代表者名	代表取締役社長 内藤 裕紀
コード番号	3793 (東証マザーズ)
問合せ先	取締役 経本部長 後藤 英紀
電話番号	03 - 6682 - 5700

第 1 四半期会計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間の連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 1 四半期会計期間連結業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,800	△300	△300	△200	△14.71
今回修正予想 (B)	1,634	△205	△210	△153	△11.23
増減額 (B - A)	△166	95	90	47	
増減率 (%)	△9.2	31.7	30.0	23.5	
(ご参考)					
前期第 1 四半期累計期間実績 (平成 27 年 3 月期第 1 四半期)	1,981	111	106	92	6.81

2. 連結業績予想の修正理由について

第 1 四半期連結会計期間 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日) におきましては、他社配信アニメ版權ゲームが前事業年度に引き続き堅調に推移したほか、「フルボッコヒーローズ」もプロモーション施策が奏功し伸長しました。そうした中、効率的な広告宣伝を目的としたプロモーションの見直しにより、当四半期で予定していたプロモーション施策を第 2 四半期以降に実施することとなり、当初見込んでいた広告宣伝の売上寄与が第 2 四半期以降となったこと、また「崖っぷちバスターズ」においては、ユーザー満足度の向上を目指した初期改修が続いていることから、総じての売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。

しかしながら、利益面では、コストの効率化が進んだことに加え、前述のプロモーションの見直しにより、当四半期中の発生を見込んでいた広告宣伝費が、第 2 四半期以降に発生する見通しとなったため、営業利益、経常利益、および四半期純利益が前回予想を上回る見通しとなりました。プロモーションについては、適切な時期に行うことで、広告宣伝効果の最大化を目指します。

以 上